

あとがき

東京医科大学雑誌 81 巻 4 号は、巻頭言として日本内科学会理事長 東京大学大学院医学系研究科腎臓・内分泌内科教授 南学正臣先生から、「内科の将来展望」をご寄稿頂きました。高齢化社会と 2040 年問題での内科学に求められること、また、多様なキャリアを志向する医師のリカレント教育のあり方、等の課題を簡潔にご指摘頂いています。私たち自身もその回答を常に考えていかなければならない大きなテーマです。

今回は、最終講義として、平山陽示先生、荻野均先生、久慈直昭先生から最終講義の内容を基にされたご寄稿があります。先生方の診療、研究、教育の足跡から、その背景にあるお考えを学べることは、学問を志す大学人としてわが身を振り替える機会になると思います。

特別公演は、小児科・思春期科学分野 山中岳主任教授の、「てんかんと神経炎症」で、小児神経学と免疫学を融合されているご研究の成果が示されています。現在では異なる分野・領域の方法論を統合して進める研究が強く求められております。また、この融合がない限り、新しい領域を開くことはできません。今後の研究戦略について、多くの読者の方に示唆を与える内容と思います。

研究基盤を整備するには何よりも、研究風土の醸成が不可欠です。ミニレビューで示されている新しい方法論、Pivotal Meeting Reports でご報告されている新しい動きは、研究好奇心を刺激する構成と感じました。

(三苦 博 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。
また本書の無断複写（コピー）は著作権法上の例外を除き禁じられている。

令和 5 年 10 月 30 日 発行

東京医科大学雑誌 第 81 巻 第 4 号

発行者 林 由起子

発行所 東京医科大学医学会
(東京医科大学内)

〒160-8402

東京都新宿区新宿 6-1-1

TEL 03 (3351) 6141 (代)

FAX 03 (3351) 8181

e-mail address

igakukai@tokyo-med.ac.jp

データ製作 笹氣出版印刷株式会社

〒984-0011

仙台市若林区六丁の目西町 8-45

TEL 022 (288) 5555